

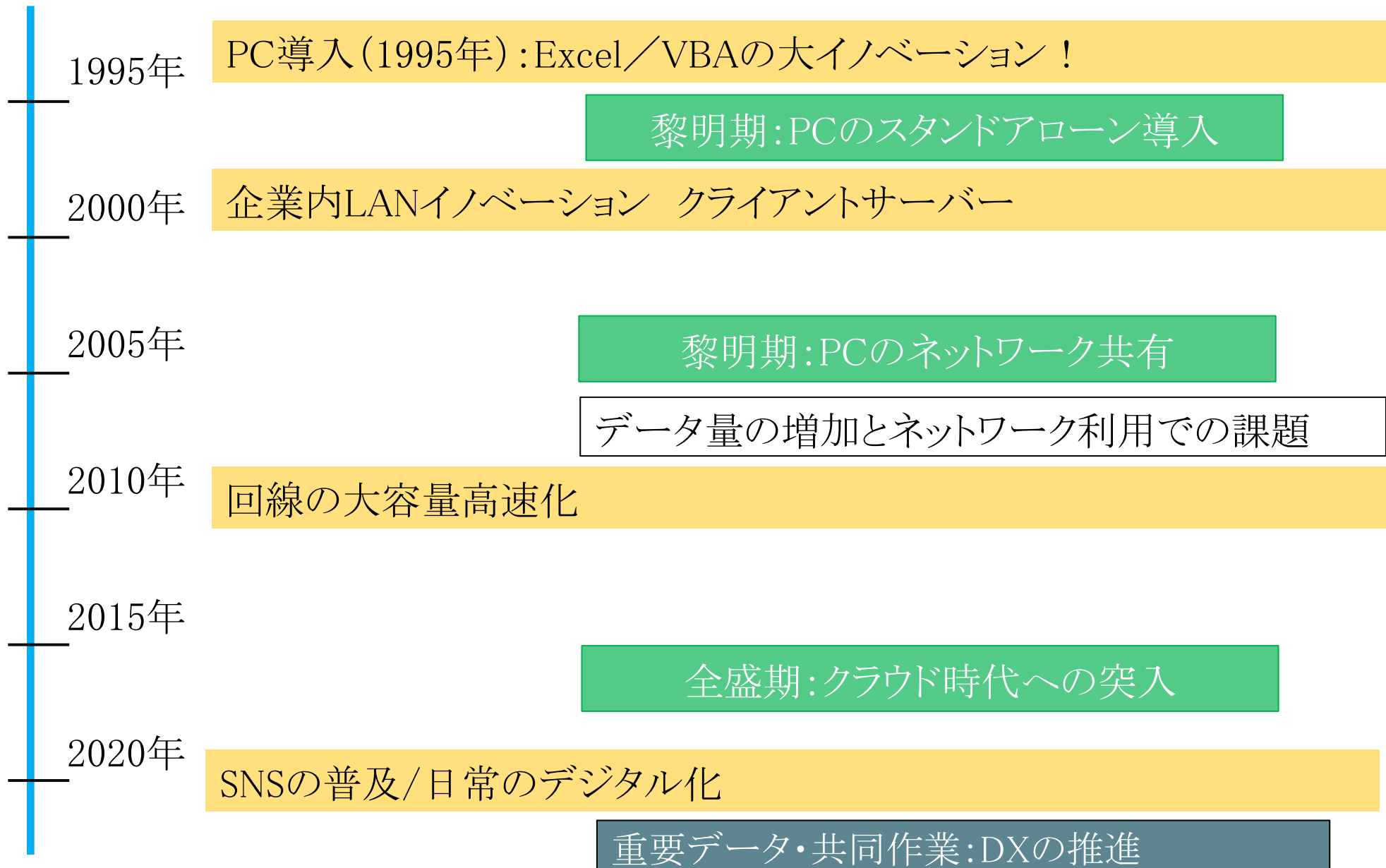


ExcelのバケツリレーでDX推進が実現できるか・・・



～デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進～

PC利用の変化



手作りExcelアプリ全盛期:PCのスタンドアローン利用時代



PC導入(1995年):Excel/VBAの大イノベーション!



Excelは基本的なソフトウェア、従業員は操作ができる

Excelは、基本的ソフトとして利用:コストはかからない



Excel/VBA(マクロ):社内専門家(Excel職人)活躍

社内にVBA言語の専門家(趣味)が増え、便利なアプリとして部門で自作・活用される

<社員による、手作りExcelアプリの全盛期>

*趣味:ビジネスとして開発を請け負った、ソフト屋との区別表現

*手作りExcelアプリ:社内専門家が自らVBA言語を駆使して作った処理自動化のExcelファイル

黎明期:PCのスタンドアローン導入

PCのスタンドアローン導入

エクセルのバケツリレー



手作りExcelアプリの課題:PCのネットワーク共有時代

Excelアプリが動かない、修復できない

VBA言語での作成者が異動・退職

1. 社内作成の非公認プログラムなのでドキュメントがない
2. Excelアプリの属人化
3. Excelバージョン間でVBAの非互換

データ量の増加とネットワーク利用での課題

社内ファイル共有での問題とは！

Excelは「個人ユース」が基本なので、「ファイル共有」には無理がある

1. 同時編集ができない、リアルタイムでの集計・分析ができない
2. エクセルのバケツリレー(メールでの転送)
3. 履歴管理ができない
4. 誤って上書き、誤削除
5. 同一書類の異バージョンが複数できる→どれが最新のものが分からなくなる
6. データ量の肥大化による動作の鈍重、ファイルの破損
7. 社内サーバ上にあるため、テレワークには不向き

黎明期:PCのネットワーク共有



PCのネットワーク共有

バケツリレーはかわらず



手作りアプリから既成アプリへ:PCのクラウド活用時代

Excelは今後とも便利な高機能ツール

1. ExcelではVBAを利用しない
2. 「個人ユース」としての計算・解析ツール
3. スタンドアローン利用(非ネットワーク)
4. Excel活用とDX推進とは別次元

手作りExcelアプリからの余韻が拭き切れていない!

大企業などでは「内部統制」の観点からVBAを含んだExcelの利用が制限されつつある



重要データ・共同作業:DXの推進

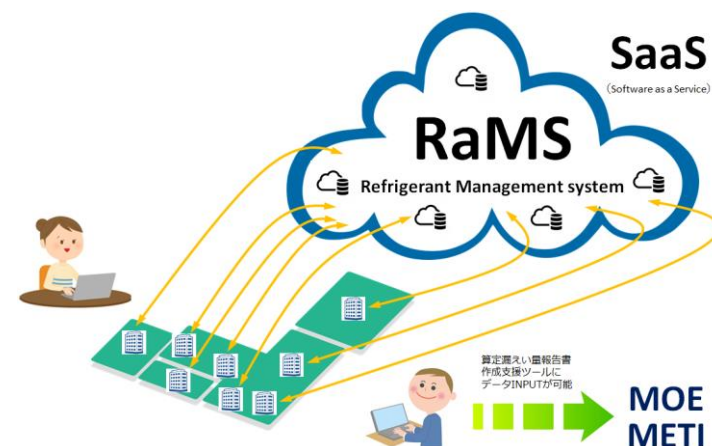
1. DX推進はクラウドで実現
2. 複数の同時アクセス可能として共同作業の実現
3. 場所と時間を選ばない:テレワーク対応
4. 情報セキュリティー／耐障害性はクラウドで実現



全盛期:クラウド時代への突入

PCのクラウド活用時代

クラウド上のデータベースに集約



RaMSはクラウド上に構築された
利用者専用のデータベースであり、
データ解析機能搭載の
“プライベート・クラウド・システム”です

安心のセキュリティ対策、第三者が個々の
RaMSデータを閲覧することはできません